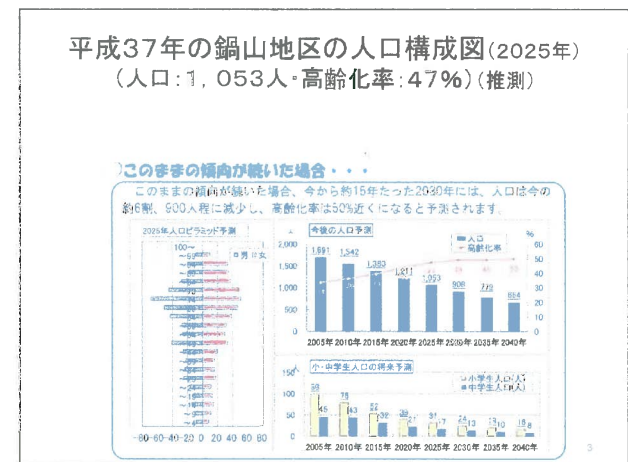
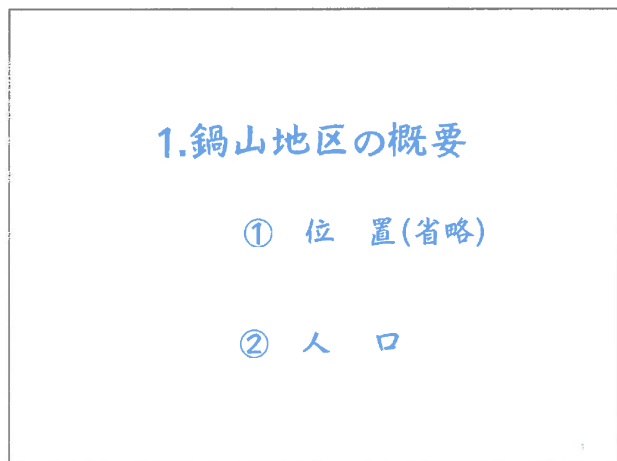
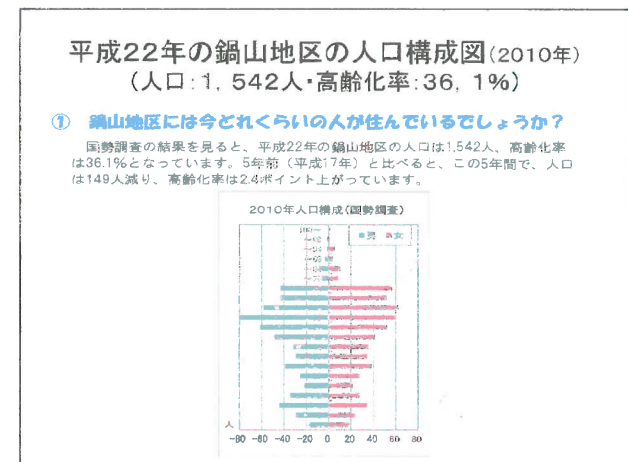
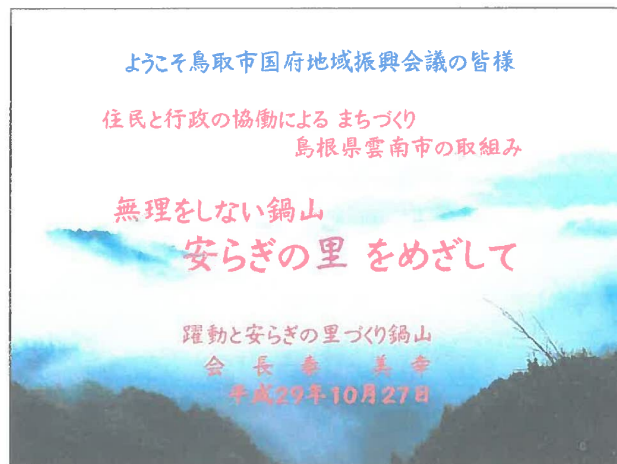




1. 鍋山地区の概要 (③ 人 口)

平成29年4月現在(対:25年度比較)

- ① 世帯数 412戸 (△17戸)
- ② 地区内の人口 1,398人 (△156人)
男性 684人(48.92%)・女性 714人(51.08%)
- ③ 65歳以上の人口と高齢化率 556人(39.77%)
(98人増・10.3%増)
- ④ 要支援者登録者数 62人(20人増)
- ⑤ 鍋山小学校の児童数 48人(△10人)
・平成14年度 103人(△55人)

4

2. 躍動鍋山の組織

① 設立の経緯

② 組織図

5



① 躍動鍋山(自主組織)設立の経緯

(1) 設立までの取組み

- ①平成17年 4月 7日 : 「地域自主組織」説明会に参加
・鍋山公民館・鍋山地区振興対策協議会の勉強会
- ②平成17年11月 7日 : 鍋山地区設立準備委員会発足
・研修会・先進地視察・規約検討
- ③平成18年 3月17日 : 自治会連合会に働きかけ
- ④平成18年 7月 3日 : 自治会評議員との合同会
・自治会連合会運営審議員を準備委員会構成員に
- ⑤平成18年11月30日 : 最終の設立準備委員会開催
・総会提出の規約・役員(案)を決定
- ⑥平成18年12月20日 : 躍動と安らぎの里づくり鍋山発足
10支部 31自治会 448世帯

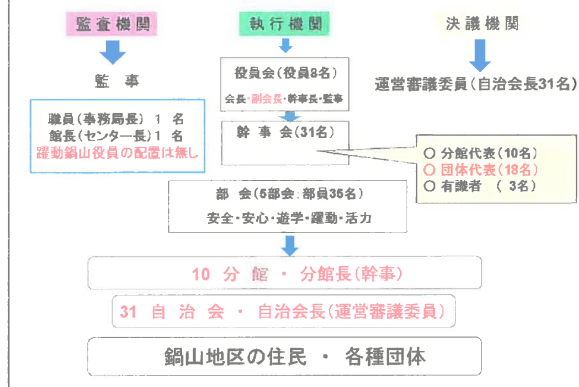
(1) 設立から3年間の躍動鍋山の会則と
既存組織の位置づけ

- ① 既存団体の意義・役割を認め継続を尊重した
(各団体長を躍動鍋山の中枢機関「幹事会」の構成員とした)
- ② 既存団体に無い、事業部会を設置し中立性を示した
(安全部会・安心部会・遊学部会・躍動部会・活力部会)
- ③ 既存団体の活動を躍動鍋山の事業として取り込んだ
(生涯学習・地域振興・福祉・環境・防災・子育て・スポーツなど)
- ④ 当時、会長(秦)には既存団体の役職は無かった
(主要団体長(4名)を副会長に指名し、地区内の均衡を図った)

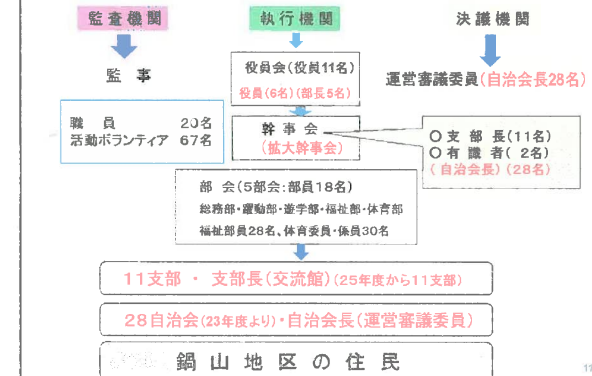
(5) 8年間を経た躍動鍋山の役割と
既存組織の位置づけ (平成27年4月改正)

- ① 躍動鍋山職員の雇用方式定着に伴う会則整備
(職員の交付金雇用・躍動鍋山独自雇用など明文化)
- ② 自治会連合会・教育後援会の統合による会則整備
(地域課題・要望・周知の観点から自治会長的位置づけを明文化)
- ③ 団体統合終了による役員会・幹事会・部会の改編
(自治会長を拡大幹事会、部長を役員会の構成員に加えた)
- ④ 少子高齢・人口減少・福祉の充実等に対応できる体制
(事務局体制・福祉部の強化、女性部の廃止など)

② (1) 平成18年12月設立時の躍動鍋山組織図



② (2) 平成27年4月改正の躍動鍋山組織図



② 組 織 図

(3) 躍動鍋山の目的 (改正なし)

会員相互の連携と協働により、地区内の諸課題の解決と進展に努め、全ての住民が生き生きと躍動し、安全で安心して生涯を輝き暮せる地域づくりに寄与し、推進することを目的とする。

3. 躍動鍋山の事業

① 新規事業一覧

平成18年～28年度まで

躍動鍋山のおもな動き一覧 (1) 平成28年8月現在			
年度	会則及び組織の動き	おもな新規事業	収入決算(円)
18	設立総会(18.12.20) 会則施行(18.12.20)	躍動鍋山新年交歓会(酒無し) 里づくり講座 躍動鍋山広報発行事業 地域マナー講座	615,916
19	鍋山振興対策協議会を統合 地区内兼道改良促進期成会を統合 鍋山公民館指定管理事業を躍動鍋山に移管 貸館収入を収益事業に計上 会則一部改正(19.10.20)	第1回鍋っこまつり 第87回ふれあい運動会 出前講座 躍動鍋山ホームページ開設 安全安心事業(防犯チョッキ500着作製)	4,058,390
20	会則一部改正(20.5.2) 鍋っこまつり出店料を収益事業収入に計上	住民意向調査(アンケート;住民15%) 主要団体会費徴収事業開始(4団体)	3,788,216
21	鍋山公民館を閉館し事業を躍動鍋山に移管 鍋山体協を躍動鍋山に統合し事業を移管	住民意向調査集約冊子を全戸配布 (261件の記述回答すべて掲載)	4,583,680
	会則一部改正(21.11. : 施行は22年度)		

躍動鍋山のおもな動き一覧 (2) 平成28年8月現在			
年度	会則及び組織の動き	おもな新規事業	収入決算(円)
22	会則改正(21.11)により次のように施行 ・分館・分館長制から支部・支部長制に移行 ・自治会は支部のもとに置くことを明文化 ・統合した団体長を副会長に任命 ・18名の団体長幹事を幹事会構成から外す ・郵会から郵制、郵の新設と名称変更 ・事務局体制の強化と整備 公民館閉館に伴い鍋山公民館のきろく(批判) 郵便切手頒・ドリンク販売事業を開始	山林地籍調査導入と体制づくり事業 災害時要援護者支援体制整備事業 54回県消防操法大会出場支援事業 89回運動会・4回鍋っこまつり中止 躍動鍋山賛詞交換交流会(酒付き) 体育部・5競技大会開始 生き生き鍋っこ事業(子供・女性・老人) 人権同和問題・男女共同参画研修事業 自主防災体制先遣地視察 パソコン教室	6,487,609
23	備品等貸出収入を収益事業に計上	鍋山放課後子ども教室開設 鍋山流安心生活見守り隊組織づくり事業 震がる鍋山事業(地籍先遣地視察も含む) 地域課題・振興対策事業 鍋山図書コーナー開設 世代間ふれあい交流事業(高齢者・児童) 鍋小運動会・発表会支援事業	9,211,674

躍動鍋山のおもな動き一覧 (3) 平成28年8月現在			
年度	会則及び組織の動き	おもな新規事業	収入決算(円)
24	会則一部改正(24. 5. 19) 鍋山福祉委員会を統合し事業を移管 雲南社協より活動車を譲受け使用開始 視察団体受入れ:5団体・103名	まめなか君の水道検針事業 まもる君のまかせて支援事業(資料・4) 雪かき応援隊設立と除雪機導入 デマンド型乗合タクシー導入対策説明会 里山活動先進地視察研修 地区計画づくりへのアンケート事業開始	9,452,363
25	総務管理事務事業開始(職員雇用・労働契約) 車両管理収入を収益事業に計上 視察団体受入れ:6団体・93名	買物弱者支援事業(移動販売車導入誘致) 廃棄物適正処理対策推進モデル事業 鳥獣害対策支援事業(いのしし倶楽部設立) 避難情報発令対応ポスター作成(600枚) 地区計画アンケート集約事業 はつらつデサービス支援事業(月9回) 配食サービス受託事業 いきいきサロン支援事業(13サロン) 一人暮らし高齢者研修交流事業 自治会福祉委員研修事業 ボランティア活動啓発事業(研修と交流会)	15,269,940

3. 躍動鍋山の事業

② 躍動鍋山の運営は4本柱

- (1)地域振興管理事業
- (2)地域振興事業:地域づくり
- (3)生涯学習事業
- (4)地域福祉事業

躍動鍋山のおもな動き一覧 (4) 平成28年8月現在			
年度	会則及び組織の動き	おもな新規事業	収入決算(円)
26	視察団体受入れ:8団体・81名	鍋山地区計画策定事業(意見集約・編纂) 鍋山消防団後援事業 災害時要援護者登録再調査事業(62名) 災害時一時避難所再検討事業(28自治会) 遊べる水辺づくり事業 郡達大膳がん検診啓蒙販売開始(受託) 狩猟免許取得支援事業(鳥獣害対策)	18,147,223
27	会則一部改正(27. 5. 9) ・職員の雇用方式定章に伴う会則整備 ・自治会連合会・教育後援会統合による整備 ・団体統合に伴う役員会・幹事会・部会の改編 ・少子高齢・人口減少・福祉強化対応への整備 鍋山自治会連合会・小学校教育後援会を統合 他団体会費徴収を終了し躍動会費に一元化 視察団体受入れ:12団体・100名	第1次防災備品備蓄事業終了(170万円) 安心生活応援隊設立(雪かき応援隊改称) 野良から子供の見守り事業 健康づくり事業 鍋山地区計画発刊事業(700冊発刊)	17,353,784
28	28年度事業推進の基本方針 ・鍋山地区計画に基づく組織運営 ・雲南市との基本協定に基づく課題対応と運営 ・地域づくり応援隊事業導入による事業の活性化 視察団体受入れ予定:5団体・80名	第60回消防操法大会出場支援事業 雲南市地域づくり応援隊事業 活き活き鍋っこ水辺の教室事業 第2次防災備品備蓄事業(100万円) 鍋山再発見プロジェクト事業・伝統文化継承事業	(予 算) 19,940,000 17

3. 躍動鍋山の事業

③ 躍動鍋山の18主要事業

③ 躍動鍋山の18主要事業

(主要事業の一部を紹介)

1. 山林地籍調査事業導入対策と推進態勢強化事業
21. 11. 9 より
2. 災害時要援護者避難支援体制整備事業
22. 4. 1 より
3. 防災用品備蓄事業と備品活用避難訓練事業
23. 1. 25 より
(地域防災組織育成助成事業採択 : 26. 7. 10)
(電源立地対策交付金事業採択 : 28. 8)

③ 躍動鍋山の18主要事業

(主要事業の一部を紹介)

7. 安心生活応援隊事業 24. 12. 1 より
(雪かき応援隊事業を27年度から名称変更)
8. 交通弱者支援事業 25. 3. 1 より
(デマンド型タクシー活用促進対策)
9. 買い物弱者支援事業 25. 5. 16 より
(ファミリーマート移動販売車の地区内巡回販売と連携)

③ 躍動鍋山の18主要事業

(主要事業の一部を紹介)

4. 子育て支援事業 23. 4. 1 より
(鍋山放課後子ども教室開設運営)
5. まめなか君の水道検針事業 24. 4. 1 より
(水道メーター検針時に要支援者への声掛け)
6. まもる君のまかせて支援事業 24. 7. 1 より
(携帯キッズ電話による見守り事業)

③ 躍動鍋山の18主要事業

(主要事業の一部を紹介)

10. 景観保全事業 25. 4. 1 より
(島根県モデル事業 : 廃棄物適正処理対策推進事業)
11. 鳥獣害対策事業 26. 2. 15 より
(躍動鍋山いのしし倶楽部の設立と対策支援事業)
12. 鍋山消防団後援事業 26. 4. 1 より

③ 躍動鍋山の18主要事業
(主要事業の一部を紹介)

13. 遊べる水辺づくり事業 26. 11. 14 より
(鍋山交流センター付近
河川敷除伐・清掃整備事業)
14. 鍋山小学校教育後援事業 27. 4. 1 より
15. 健康づくり事業 27. 4. 1 より
(広報による啓発、保健師、
医療機関との連携活動)

③ 躍動鍋山の18主要事業
(主要事業の一部を紹介)

16. 野良から子どもの見守り事業 27. 4. 1 より
(高齢者グループ、いきいきサロン
地域住民等による子どもの見守り活動)
17. 生き生き鍋っこ水辺の教室事業 28. 4. 1 より
18. 鍋山地区内実態調査事業 28. 8. 1 より
(我が家の将来・地域の将来への全戸アンケート)
(集落ごとの農地現況調査・11支部で実施)

1. 山林地籍調査事業導入対策と推進態勢強化事業
(21. 11. 9 より)

里坊地区1工区推進委員会
H.26. 9月

里坊1工区:境界確認作業中
H.26. 10月



2. 災害時要支援者登録事業(29年度までの状況)

自治会名	23年度	26年度	29年度	自治会名	23年度	26年度	29年度
上乙芝田上	0	1	1	里坊郷上	1	4	6
上乙芝田下	0	1	1	里坊郷下		0	0
下乙芝田	0	1	0	里坊後	0	2	2
鳥 横	4	1	1	殿河内上	1	0	0
深谷上	0	2	2	殿河内中	1	0	0
深谷下			0	殿河内下		0	0
加食田郷		0	9	明 石	1	0	3
栗 原		0	1	太 田	0	0	0
樺 定	13	10	10	御城山		0	0
富 内	6	5	3	成木下油原	3	2	2
作石	1	1	1	坂本郷	1	2	2
駒根波中	0	0	0	坂本南郷	0	4	4
駒根波下	1	2	2	松杉谷	0	7	6
後根波	3	4	3				
里坊畑	3	3	3	合 計	39	55	262

3. 防災用品備蓄事業と備品活用避難訓練事業
(23. 1. 25 より)
(地域防災組織育成助成事業採択決定 : 26. 7. 10)

4年越しの応募で 格納庫も含め総額約170万円の
ゲットできました 備品が揃いました



5. まめなか君の水道検針事業(24年4月より)

1) 水道検針業務委託契約(24年4月現在)

・24年4月 : 検針口数 509口 (420世帯)
委託料 832, 560円
・29年4月 : 検針口数 525口 (412世帯)
委託料 905, 124円

2) 検針員 7人 (躍動鍋山職員扱い)

・報酬(24年4月) 1時間 750円
(25年4月) 800円
(26年4月より) 850円

3) 声掛け対象

・要支援者(当初) 32名
(29年9月現在) 62名

30

4. 子育て支援事業 (23. 4. 1より)
(鍋山放課後子ども教室開設運営)

七夕飾りは地域の皆さんにも 放課後教室に来たら
見てもらいます まず宿題です



6. まもる君のまかせて支援事業(24年7月1日より)
(携帯キッズ電話による見守り事業)

① 携帯電話の親子機能を利用した24時間見守り体制

② 費用 : 躍動鍋山の自主会計より支払い

* 初期導入費 (電話 11台、事務手数料)
* 子機10台の使用料 (780円×10台×12月) 93, 600円
* 親機1台の使用料 (2, 310円×1台×12月) 27, 720円
合 計 121, 320円

③ 27年2月より : 子機 25台 : 234, 000円

④ 29年3月より : 子機 15台 : 168, 120円

31

6. まもる君のまかせて支援事業

まもる君の活動状況（5年間）（29. 9. 1現在）

	着信件数	発信件数	訪問件数
24年	48	59	56
25年	55	41	35
26年	5	4	29
27年	24	21	13
28年	7	5	7
29年	30	10	13
累 計	169	140	153

32

8. 交通弱者支援事業 25. 3. 1より （デマンド型タクシー活用促進対策）

- ① 実証運行モデル地区の指定を受け
サロン、高齢者クラブ等に制度説明及び利用
促進対策の出前講座を実施
- ② 25年3月1日より鍋山地区で実証運転開始
- ③ 26年4月より鍋山地区で本格運行開始

33

7. 安心生活応援隊事業（24. 12. 1より）

*「雪かき応援隊事業」として開始 ・ 24. 12. 1

*「安心生活応援隊事業」として衣替え ・ 27. 4. 1

- ① 受託作業内容（一部紹介）（料金は作業ごとに設定）
 - ・除雪作業 ・草刈り ・立木、竹伐採 ・農作業（軽）
 - ・大工、左官 ・空き家等の片付け ・墓掃除 ・剪定作業
 - ・話し相手 ・買い物、病院への送迎付添い ・障子張替え
 - ・その他の軽作業
- ② 作業従事者（躍動鍋山の職員扱い）
 - ・作業賃金は職員報酬として支払

34

9. 買い物弱者支援事業（25. 5. 6より） （ファミリーマート移動販売車の地区内巡回販売と連携）

1) 事業の概要

- ① ファミリーマート里方店 の移動販売車と連携
 - ☆販売車は「買いもん助け隊・だんだん号」
 - ☆鍋山地区内を毎週木曜日に巡回販売
- ② 躍動鍋山の支援内容
 - ☆要援護者・高齢独居者・高齢者世帯を中心に
 - 食料品・日用品などの買い物希望の取次ぎ業務
 - ☆販売車の周知と利用促進支援
- ③ 雲南市の補助金導入で車両が購入されている

35

10. 景観保全事業 (25. 4. 1 より)
(島根県モデル事業 : 廃棄物適正処理対策推進事業)

モデル事業は終わっても
監視の目は厳しく 27. 6月

モデル事業では投棄物
一斉撤去作業も25. 11月



12. 鍋山消防団後援事業 (26. 4. 1 より)

収入
会費 533, 000円(1300×410戸)

支出
団活動助成金 140, 000円(1分団・6部)
団員活動支援 390, 000円(5000×78名)
連絡協経費 3, 000円(会議費等)

38

11. 鳥獣害対策事業 (26. 2. 15 より)
(躍動鍋山いのしし倶楽部の設立と対策支援事業)

講習会では、サル・カラスの
撃退砲づくりも 26. 9月

いのしし倶楽部4基目の捕獲檻
を設置 26. 7月



13. 遊べる水辺づくり事業 (26. 11. 14 より)
(鍋山交流センター付近河川敷除伐・清掃整備事業)

背丈の倍もある竹藪との
戦いでした 26. 11月

第1回戦は高齢者チーム
9名で。後を楽しみに。11月



14. 鍋山小学校教育後援事業 (27. 4. 1 より)

収入 会費 574, 000円(1400×410戸)

支出 環境整備費 245, 000円
 スポーツ振興費 80, 000円
 児童活動費 200, 000円
 研究費 40, 000円
 需用費 9, 000円

16. 野良から子どもの見守り事業 (27. 4. 1より)
 (高齢者グループ等による配布用チラシ)



42

15. 健康づくり事業 (27. 4. 1より)
 (広報による啓発、保健師・医療機関との連携活動)

1)事業の概要

- ① 講習会の開催
- ② 広報「躍動鍋山」への「保健師だより」の連載
- ③ 「郵送大腸がん検診容器販売」と啓発活動等
- ④ 雲南市保健師等による健康管理指導
 「まめなか君の水道検針同行」による健康管理指導

17. 活き活き鍋っこ水辺の教室事業 (28. 7. 18)

鍋山小1・2年生 27. 9月 三刀屋小5年生 27. 10月

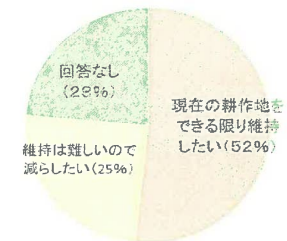


18. 鍋山地区内実態調査事業 (28.8.1 より)
 (我が家の将来・地域の将来 : 全戸アンケート)
 (集落ごとの農地現況調査 : 11支部で実施)



アンケート結果 (415世帯 回答数325)

今後の農地利用について



アンケート結果 (415世帯 回答数325)

自宅等(住居)の後継者 家族間での話し合い



3. 躍動鍋山の事業

② 安らぎの里づくりへの挑戦動機

- 1) 20年度実施のアンケート調査
・住民意向調査結果と261件の記述回答
- 2) 自然災害発生に備えたモデル事業の導入
 - ① 22年度事業
・災害時要援護者避難支援体制整備事業
 - ② 23年度事業
・鍋山流安心生活見守り隊組織づくり推進事業
- 3) 運動会の中止（新聞報道：24. 1. 12）

48

4. 声掛け・見守り事業などの取組みから 見えてきた課題

- ① 三刀屋町内の個人医院等が減少し
在宅医療・訪問看護等が困難な状況
- ② 市立病院等の充実も当然必要だが
個人医院に頼る在宅医療の充実
- ③ 地域内資源（専門職等）把握と連携体制づくり
- ④ 関係機関（医療・看護・社協等）による
バックアップ体制づくり

50

② 安らぎの里づくりへの挑戦動機

- 2) 22・23年度補助事業を通して
- ③ 明確になった課題
 - (1) 支部・自治会の姿勢により要援護者の扱いに差が出ている
 - (2) 自主組織への要援護者情報が不十分
 - (3) 一時避難所(各地域)の見直しが必要
 - (4) 今後の登録・更新の扱いの統一が必要
 - (5) 「絵に描いた餅」にならない事業の発掘

49

28年度より

5. 躍動鍋山の組織運営方針

- ① 鍋山地区計画に基づく組織運営
- ② 地域と行政のまちづくりに関する
基本協定に基づく組織運営

51

- ① 鍋山地区計画に基づく組織運営 28年度より
 (地区計画決定と発刊事業: 27. 7完成)
 (一般販売価格: 500円)



52

28年度より

5. 躍動鍋山の組織運営方針

- ② 地域と行政のまちづくりに関する

基本協定に基づく組織運営

54

- ① 鍋山地区計画に基づく組織運営

地区計画策定までの事業内容(地区計画とは)

- (1) 自治会点検シート集約(H25・26年度)
 - ・地区内28自治会の課題集約(アンケート)
- (2) 諸団体・グループ等の意見集約(H26年度)
 - ・研修会・各種会合でのアンケート実施など
- (3) 鍋山地区計画発刊事業(H26・27年度)
 - ・中心プロジェクトの決定
 - 「みんなが安心・みんなでいきいき・無理をしない地域づくり」
 - ・地域文化の探索と掲載
 - 「民話・園歌・校歌・鍋山マップなど」
 - ・資料編の掲載
 - 「躍動鍋山の組織・人口推計・地域課題・防災対応など」

53

- ② 地域と行政の協働のまちづくりに
 関する基本協定に基づく組織運営

1. 相互の役割

(1) 躍動鍋山の役割

鍋山区域を包括する地域の主体者としての役割

① 必須業務

行政が担うより効率的で効果的な業務について、行政が依頼するもの。

ア、行政連絡業務(配布・回覧・周知)

イ、地域要望の把握(躍動鍋山を経由して行政に要望)
 (協定締結前より実施)

ウ、各種委員等の推薦

(統計調査員・投票立会人・民生児童委員・主任児童委員等) (一部は協定締結前より実施)

55

② 地域と行政の協働のまちづくりに
関する基本協定に基づく組織運営

1. 相互の役割

(1) 躍動鍋山の役割

鍋山区域を包括する地域の主体者としての役割

② 選択業務

地域の自主性を尊重し、地域の主体性や個性を生かす
業務を行政から受託するもの。

ア、まめなか君の水道検針業務(協定締結前より実施)

イ、郵送大腸がん検診容器販売(協定締結前より実施)

ウ、交流センター指定管理業務(協定締結前より実施)

エ、鍋山放課後子ども教室事業(協定締結前より実施)

オ、後期高齢者タクシー優待券販売業務・住民票の発行
業務等 (現在、行政との協議について要望中)

56

6. 躍動鍋山の新たな挑戦

(28年度新規事業)

(1) 地域づくり応援隊事業導入による 事業の活性化と永住化対策

①「地域の活性化と新風導入事業」

「応援隊員活動支援事業」

(29年度予算 : 710,000円)

58

② 地域と行政の協働のまちづくりに
関する基本協定に基づく組織運営

1. 相互の役割

(2) 行政(雲南市)の役割

躍動鍋山の活動を支援するために担う役割

ア、情報の提供

イ、研修機会の提供

ウ、人的支援

エ、活動資金の提供

オ、活動拠点施設の提供

カ、その他相互に必要と認めること

57

6. 躍動鍋山の新たな挑戦

(28年度新規事業)

②「鍋山よかところ発見事業」

「応援隊員から見える

鍋山よかところの整備等支援事業」

(29年度予算 : 260,000円)

59

6. 躍動鍋山の新たな挑戦

(28年度新規事業)

③ 「元氣な鍋山見守り事業」

「安心生活見守り事業のバージョンアップと
ささえあい事業との協働事業」

(29年度予算:60,000円)

60

(1) 鍋山ささえあい事業とは

2) 目指す姿

住民主体の支え合いコミュニティ

3) 目指す理想のコミュニティ

住民が住み慣れた地域で

◎ 困りごとを自分たちの手で解決しながら

できるだけ長く健康で安全安心に楽しく

暮らすことができる 地域

62

6. 躍動鍋山の新たな挑戦

(29年度新規モデル事業)

(2) 「躍動鍋山ささえあい事業」

「(雲南市における過疎地域等)

集落ネットワーク圏形成支援事業」

総務省事業 (29年度単年度事業)

事業申請交付金額 : 12,644,000円

61

(2) 鍋山ささえあい事業とは

4) 集落ネットワークが目指す理想的な取組み

1. みんなの生活を守るための取組み

- ・住民同士で見守る体制の確立
- ・地区内の環境整備

2. 地域を活性化するための取組み

- ・子どもから大人まで参加できる活動展開
- ・外出しやすい仕組みの確立

3. 地域を維持するための取組み

- ・行事、組織を集約し、住民の負担を減らしていく
- ・外部機関と連携し、地域の負担を減らす

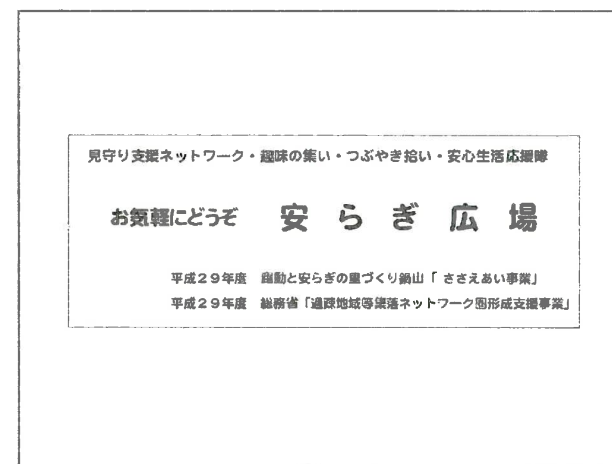
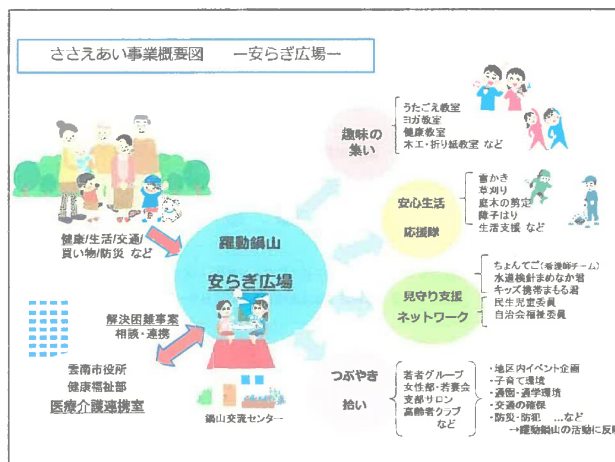
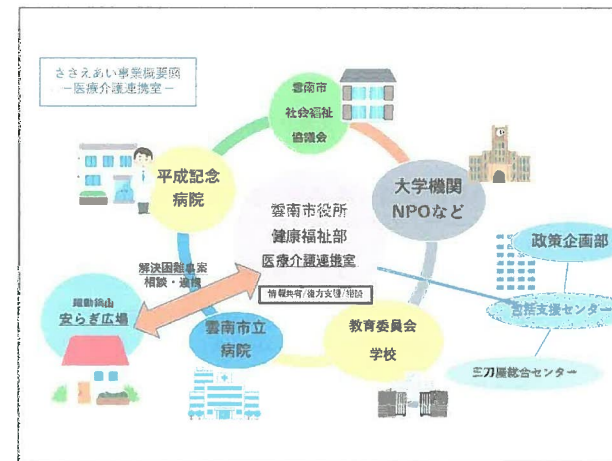
63

(2) 鍋山ささえあい事業とは

1) 事業の目的

- ① 躍動鍋山を中心に、交流センター内にささえあいの拠点を つくる
- ② 地域福祉・生活支援・医療介護・集いの場等の課題やニーズの把握、調査を行う
- ③ 地区内の人材等、社会資源の調査・発掘を行う
- ④ 地区内の人材をはじめとする社会資源を活用し、外部とのネットワーク構築に取り組む
- ⑤ 具体策として、センター内に住民の「集いの場(仮称)」を開設する

64





7. 躍動鍋山の予算(決算)

収入決算状況(抜粋)

地域活動を行う財源は。

99

7. 躍動鍋山の予算

(1)平成19年度(センター管理会計を統合)

① 収入決算額	4,058,390円
・雲南市補助金	1,098,000円
・別枠補助事業・受託事業費	718,000円
(センター指定管理料 698,000円を含む)	
・収益事業収入(貸館)	102,145円
・会費	488,400円
(躍動会費・センター管理会費)	
・諸収入	1,651,845円
(振興対策協議会・運動会会計等の統合・繰入金・繰越金等)	

7. 躍動鍋山の予算

(2)平成25年度(福祉委員会業務及び会計を躍動鍋山に統合)

①収入決算額	15,269,940円
・雲南市交付金 (人件費算入)	7,916,000円
・社協助成金(福祉推進員報酬等)	1,223,850円
・別枠補助事業・受託事業費	1,720,700円
(センター指定管理・放課後教室等)	
・収益事業収入	1,993,436円
(貸館・印刷・まめなか君の水道検針・切手・ドリンク・備品管理等)	
・会費	850,000円
(他団体会費徴収業務廃止。躍動鍋山・センター管理会費のみ)	
・諸収入(繰越資金・参加者負担金等)	1,565,954円

7. 躍動鍋山の予算

(3)平成28年度

②収入決算額	19,949,495円
・雲南市交付金	8,238,000円
・社協助成金等	353,058円
・補助事業・受託事業費	4,157,730円
(センター管理・社協委託・放課後教室・地域づくり応援隊等)	
・収益事業収入	2,924,835円
(貸館・印刷・水道検針・切手・ドリンク・備品管理・安心生活応援隊事業等)	
・会費	2,260,000円
(躍動鍋山・消防団後援・小学校後援事業会費等)	
・諸収入	2,015,872円
(参加者負担金・繰越金・繰入金・視察料・寄付金等)	

◎ 28年度 躍動鍋山の収益事業 (2,923,835円)

①印刷機管理事業	収入 695,251円
②施設管理事業	収入 558,844円
③水道検針事業	収入 905,124円
④ドリンク類販売事業	収入 291,747円
⑤切手類売捌き事業	収入 64,680円 (手数料)
⑥備品等管理事業	収入 150,005円
⑦安心生活応援隊事業等	収入 258,184円

7. 躍動鍋山の予算

◎平成28年度からの 年会費 : 1世帯当り
会費(会員の負担金) 4,500円

・地域振興費	300円
・生涯学習費	200円
・地域福祉費	500円
・体育活動費	300円
・鍋山交流センター管理費	300円
・鍋山消防団後援事業費	1,500円
・小学校後援教育事業費	1,400円

7. 躍動鍋山の予算

(4)平成29年度

①収入予算額	32,644,000円
・雲南市交付金	8,286,000円
・社協助成金等	353,000円
・補助事業・受託事業費	17,622,700円
(指定管理・社協委託・放課後・応援隊・支え合い等)	
・収益事業収入	2,735,000円
(貸館・印刷・水道検針・切手・ドリンク・備品管理・安心生活事業等)	
・会費	1,763,000円
(躍動鍋山・消防団後援・小学校後援事業会費等)	
・諸収入	1,884,300円
(参加者負担金・繰越金・繰入金・視察料・寄付金等)	

7. 躍動鍋山の予算

②平成29年度からの 年会費 : 1世帯当り
会 費(会員の負担金) 4,300円(200円引き下げ)

・地域振興費	300円
・生涯学習費	200円
・地域福祉費	500円
・体育活動費	300円
・鍋山交流センター管理費	300円
・鍋山消防団後援事業費	1,300円
・小学校後援教育事業費	1,400円

76

7. 躍動鍋山の予算

(6)平成29年度 躍動鍋山 福祉事業予算

②支出予算額	1,706,100円
・地域福祉推進員報酬	912,800円
・福祉部員研修会	80,000円
・一人暮らし高齢者研修交流会	50,000円
・ボランティア活動啓発研修事業	50,000円
・まもる君のまかせて支援事業	50,000円
・元気な鍋山見守り事業	30,000円
・いきいきサロン助成金交付事業	170,000円
・配食サービス事業	90,000円
・福祉活動広報事業	53,000円
・ディサービス諸費(菓子代に充当)	15,300円
・福祉事業推進費	205,000円

7. 躍動鍋山の予算

(7)平成29年度 躍動鍋山 福祉事業予算

①収入予算額	1,706,100円
・地域福祉推進員報酬(報酬に充当)	360,000円
・地域福祉推進活動助成(報酬に充当)	288,000円
・福祉活動助成金(福祉事業費に充当)	353,000円
・サロン助成金交付事業(13サロンに交付)	130,000円
・配食サービス委託料(報酬・経費に充当)	110,000円
・ディサービス委託料(報酬・菓子代に充当)	260,100円
・躍動鍋山会費(福祉事業に充当)	205,000円

8. なぜ、協働によるまちづくり？ 無理をしない地域づくり？

- ① 鍋山地区の人口推移分析だけを見ても
・いつまでも現状の体制では、集落の維持はできません
- ② 無理をしない地域づくりは手抜推奨ではありません
・持続可能な地域づくり体制への切り替えが必要
- ③ 誰かがやってくれる時代は終わりました
・できることから、皆でやってみましょう

79